



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 三信電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松永 光正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経本部長 (氏名) 西尾 圭司

TEL 03-3453-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	78,932	△12.9	608	△51.2	635	△52.0	401	△49.3
23年3月期第2四半期	90,609	△8.0	1,246	11.1	1,322	20.8	793	△2.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △542百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △186百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.27	—
23年3月期第2四半期	26.19	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	84,051	58,750	69.9
23年3月期	92,422	59,596	64.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 58,750百万円 23年3月期 59,596百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△6.9	1,700	△21.4	1,700	△24.7	1,150	△20.6	37.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	30,281,373 株	23年3月期	30,281,373 株
24年3月期2Q	1,006 株	23年3月期	965 株
24年3月期2Q	30,280,385 株	23年3月期2Q	30,280,621 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

当社は、平成23年11月10日に証券アナリスト、機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
( 1 ) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
( 2 ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 3 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
( 3 ) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
( 5 ) セグメント情報等 .....	9
( 6 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の財政問題がより深刻化したこと、米国の景気後退懸念が強まったことに加え、新興国におきましても景気減速への警戒感が広がるなど、全体的に厳しい情勢となりました。また、我が国経済につきましても、急激な円高に見舞われるなど景気の下振れ懸念が強まりました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、東日本大震災により寸断されたサプライチェーンの復旧が進んだものの、厳しい世界経済の情勢や円高の長期化を背景に先行きに対する不透明感が依然残りました。

このようななか当社グループは、事業力の強化と経営基盤の整備に取り組み、売上高の増加並びに収益力の向上に努めてまいりました。

しかしながら、事業環境の変化や東日本大震災の影響などにより、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は789億32百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益は6億8百万円（前年同期比51.2%減）、経常利益は6億35百万円（前年同期比52.0%減）、四半期純利益は4億1百万円（前年同期比49.3%減）となりました。

#### セグメント業績概況

##### (デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体（システムLSI、マイコン、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等）や電子部品（コネクタ、コンデンサ、回路基板等）の販売に加え、ソフト開発やASIC設計等の技術サポートを行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、半導体は主要仕入先の統合に伴い獲得した新規商流が増加したものの、家庭用ゲーム機並びにデジタル家電向けシステムLSIや携帯電話向けチップセットなどが減少し、売上高が前年同期に比べ減少いたしました。また、電子部品につきましても、デジタル家電向けコネクタが堅調に推移したものの、家庭用ゲーム機向けなどが減少し、売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、連結デバイス事業の売上高は739億84百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント損益は4億79百万円（前年同期比60.0%減）となりました。

なお、受注高は704億33百万円、受注残高は331億8百万円となりました。

##### (ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、主に企業や医療機関、官公庁、自治体向けに情報通信ネットワークや基幹業務システムの販売及び保守・サポート等を行うネットワークシステム関連ビジネスと、放送局や映像制作のプロダクション向けに映像コンテンツの編集や送出、配信に使用するシステムやソフトウェアの販売等を行う映像システム関連ビジネスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、映像システム関連ビジネスは堅調に推移したものの、ネットワークシステム関連ビジネスは公共向けなどが減少し、売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、連結ソリューション事業の売上高は49億48百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント損益は保守やサポートなどのノンハードの売上高増や販売費及び一般管理費の削減により、3億88百万円（前年同期比71.2%増）となりました。

なお、受注高は52億82百万円、受注残高は47億28百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて83億71百万円減少し、840億51百万円となりました。これは主に売上債権の減少95億31百万円、商品の減少31億31百万円、現金及び預金の増加57億38百万円等によるものです。

また、負債は、前連結会計年度末に比べて75億26百万円減少し、253億円となりました。これは主に短期借入金の減少41億43百万円、仕入債務の減少34億18百万円等によるものです。

純資産は、利益剰余金の増加99百万円、為替換算調整勘定の減少9億20百万円等により8億45百万円減少し、587億50百万円となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、売上債権の減少やたな卸資産の減少等により収入が増加したため、前連結会計年度末に比べて57億38百万円増加し、125億63百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少及びたな卸資産の減少等による収入が仕入債務の減少等による支出を上回り、100億68百万円の収入となりました。その結果、前第2四半期連結累計期間が38億74百万円の支出であったことから、139億42百万円の収入増となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出等により59百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ支出が27百万円増加しております。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出等により41億99百万円の支出となりました。その結果、前第2四半期連結累計期間が13億81百万円の収入であったことから、55億81百万円の支出増となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は当初予想を下回ったものの、利益面では当初予想以上に好調に推移いたしました。しかしながら、第3四半期以降につきましては、世界経済全体に減速感が強まっていることや為替相場が当初想定した以上に円高で推移していること、また、タイでの洪水被害による影響も不透明であることなど、当初の想定よりも事業環境が厳しくなるものと見込んでおります。

その結果、通期の連結業績予想につきましては、平成23年3月期決算短信(平成23年5月18日発表)に記載した予想数値を下記の通り変更しております。なお、通期の連結業績予想の前提となる為替換算レートは、1米ドル=78円(上期79.82円、下期76円)を想定しております。詳細につきましては、本日(平成23年11月4日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### (通期連結業績見通し)

売上高	1,700.0億円	(前期比 6.9%減)
営業利益	17.0億円	(前期比 21.4%減)
経常利益	17.0億円	(前期比 24.7%減)
当期純利益	11.5億円	(前期比 20.6%減)

#### (為替換算レートの前提)

通期：1米ドル=78円

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法にて計算する方法に変更しております。

これは、得意先の海外生産移管が進むなか、税金等調整前四半期純利益に対する連結子会社からの受取配当金等永久に益金に算入されない項目の割合が年度の見積実効税率の算出における課税所得に対する割合に比べて高くなったため、従前の方法では、四半期連結累計期間の経営成績を適切に反映できないと判断し、年度決算同様の方法を採用することによって四半期連結累計期間の課税所得に対応する税金費用をより正確に反映させるとともに経営成績をより適切に表示することを目的として行ったものです。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、主に前第2四半期連結累計期間の法人税等合計が37百万円減少したことにより、四半期純利益は38百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,824	12,563
受取手形及び売掛金	54,856	45,324
商品	20,996	17,864
半成工事	14	17
その他	3,165	1,940
貸倒引当金	26	22
流動資産合計	85,830	77,687
固定資産		
有形固定資産	4,417	4,353
無形固定資産		
のれん	27	67
その他	265	201
無形固定資産合計	292	268
投資その他の資産		
その他	1,923	1,782
貸倒引当金	41	40
投資その他の資産合計	1,882	1,741
固定資産合計	6,592	6,364
資産合計	92,422	84,051
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,218	19,799
短期借入金	7,788	3,645
未払法人税等	135	249
引当金	638	567
その他	821	824
流動負債合計	32,601	25,086
固定負債	224	213
負債合計	32,826	25,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,811	14,811
資本剰余金	15,329	15,329
利益剰余金	32,215	32,314
自己株式	0	0
株主資本合計	62,355	62,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98	33
繰延ヘッジ損益	22	18
為替換算調整勘定	2,835	3,755
その他の包括利益累計額合計	2,759	3,703
純資産合計	59,596	58,750
負債純資産合計	92,422	84,051

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
( 四半期連結損益計算書 )  
( 第 2 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	90,609	78,932
売上原価	84,747	73,610
売上総利益	5,862	5,321
販売費及び一般管理費	4,616	4,713
営業利益	1,246	608
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	114	9
その他	41	40
営業外収益合計	168	57
営業外費用		
支払利息	11	14
売上割引	17	3
為替差損	32	11
その他	29	1
営業外費用合計	91	31
経常利益	1,322	635
特別利益		
固定資産売却益	-	2
投資有価証券売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	0	-
のれん譲渡益	3	-
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	0	6
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	106	19
会員権評価損	-	4
特別損失合計	107	30
税金等調整前四半期純利益	1,219	606
法人税、住民税及び事業税	410	181
法人税等調整額	16	23
法人税等合計	426	204
少数株主損益調整前四半期純利益	793	401
四半期純利益	793	401



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	793	401
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	173	64
繰延ヘッジ損益	108	41
為替換算調整勘定	913	920
その他の包括利益合計	979	944
四半期包括利益	186	542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186	542
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,219	606
減価償却費	153	149
のれん償却額	14	11
前払年金費用の増減額(は増加)	17	25
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	1
受取利息及び受取配当金	126	17
支払利息	11	14
固定資産売却損益(は益)	0	2
投資有価証券売却損益(は益)	0	0
投資有価証券評価損益(は益)	106	19
売上債権の増減額(は増加)	6,979	7,909
たな卸資産の増減額(は増加)	7,845	2,540
仕入債務の増減額(は減少)	9,209	2,247
未収消費税等の増減額(は増加)	572	863
未払消費税等の増減額(は減少)	0	1
その他	106	95
小計	3,751	9,965
利息及び配当金の受取額	24	17
利息の支払額	11	13
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	135	99
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,874	10,068
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	11	14
有形固定資産の売却による収入	2	1
ソフトウェアの取得による支出	-	6
投資有価証券の取得による支出	0	20
投資有価証券の売却による収入	0	0
その他	23	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	32	59
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	5,190	14,836
短期借入金の返済による支出	3,489	18,715
リース債務の返済による支出	17	16
自己株式の純増減額(は増加)	0	0
配当金の支払額	302	304
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,381	4,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	197	70
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,723	5,738
現金及び現金同等物の期首残高	15,491	6,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,768	12,563

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	デバイス事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	85,377	5,232	90,609	-	90,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	85,377	5,232	90,609	-	90,609
セグメント利益	1,197	226	1,423	101	1,322

(注)1 セグメント利益の調整額 101百万円には、各報告セグメントに配分していない企画・総務・経理及び人事等管理部門に係る費用、各報告セグメントに配分した社内支払利息との調整額などが含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	デバイス事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	73,984	4,948	78,932	-	78,932
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	73,984	4,948	78,932	-	78,932
セグメント利益	479	388	867	232	635

(注)1 セグメント利益の調整額 232百万円には、各報告セグメントに配分していない企画・総務・経理及び人事等管理部門に係る費用、各報告セグメントに配分した社内支払利息との調整額などが含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。